

事務事業名		資本的支出事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	上下水道課
	政策	04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	係	下水道係・監理係
	施策	04	水洗化の促進	内線電話	283・280・378
予算体系	会計	下水道事業会計		実施計画	
	款	4款	資本的支出	計上	
	項	—	—	実施期間	
	目	—	—	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	下水道使用者	安全で快適な都市基盤を提供する。	
	市民および未来の人たち	豊かな自然及び良質な水資源を残していく。	
現状・課題	管路及び取付管を布設することで水洗化を促進するとともに、老朽化が進む処理施設の長寿命化や適正な維持管理を図ることで、施設を有効活用する。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	下水道法・都市計画法・下水道条例・農業集落排水施設条例	
事務事業概要	管路布設及び取付管新設、中野浄化管理センターの再構築工事の実施、その他の処理場における計画的な設備更新を行う。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	取付管、管路布設、舗装本復旧		一式
	中野浄化管理センター再構築事業（長寿命化）		一式
	公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設の各終末処理場における計画的な設備更新		一式

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	283,580,000	430,721,000
補正・流用等		円	-25,100,000	273,850,000	—	
合計		円	258,480,000	704,571,000	182,344,000	
決算（見込）額 A			円	228,115,926	704,571,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	81,300,000	329,880,000	0
	県支出金		円	0	0	13,000,000
	市債		円	59,900,000	153,281,100	37,500,000
	その他特定財源		円	86,915,826	221,409,900	131,844,000
R2は予算額	一般財源		円	100	0	0
正規職員数			人	4.77	4.88	4.88
人件費 B			円	30,690,180	31,436,960	31,436,960
総事業費 A+B			円	258,806,106	736,007,960	213,780,960
市民1人当たりコスト			円	6,050	17,300	5,043

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
有収率		維持	目標	85.0	%	85.0	%	85.0	%
			成果	85.7	%	86.7	%	—	
水洗化率		増加	目標	87.0	%	88.2	%	88.4	%
			成果	88.1	%	88.3	%	—	
成果指標と目標値を設定した理由	有収率の向上により、より効率的な運営が図られ、水洗化率の向上により、負担の平等化が図られるため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画を策定し、計画的に下水道施設の更新工事や耐震化工事を実施する。						

